

## 2010年1月1日～2022年4月1日の間に 当科において眼内原発悪性リンパ腫の治療を受けられた方及びご家族の方へ

### 「単施設における眼内原発悪性リンパ腫の後方視的研究」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学血液内科学 講師 清水里紗  
研究分担者 川崎医科大学血液内科学 教授 和田秀穂  
川崎医科大学血液内科学 教授 近藤英生

#### 1. 研究の概要

眼内原発悪性リンパ腫は、全リンパ腫の1%と大変稀な疾患であり、60～80%の患者さんが数年以内に中枢神経に浸潤する予後不良な疾患です。一般に目の見えにくさなどのぶどう膜炎様の症状を主訴に眼科を受信されることが多いですが、診断は難しく症状出現から診断がつくまでに時間がかかることも多いです。眼の症状のみであっても中枢神経への浸潤の可能性は高く中枢神経予防が必要となりますが、現在確立された治療法がありません。このため、当院では眼内原発悪性リンパ腫と診断された方を対象に疾患の特徴を明らかにし、今後の治療法の検討を行っていきたいと考えています。

#### 2. 研究の方法

##### 1) 研究対象者

2010年1月1日～2022年4月1日の間に川崎医科大学附属病院血液内科において眼内原発悪性リンパ腫の治療を受けられた方を研究対象とします。

##### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年3月31日

##### 3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において眼内原発悪性リンパ腫の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに悪性リンパ腫に関するデータを選び、これに関する分析を行い、臨床的な特徴を明らかにし、治療効果や再発率について解析します。

##### 4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、病理診断、生検部位、副作用、再発の有無、中枢神経予防の有無 等

## 5)情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学血液内科実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

## 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 血液内科

氏名：清水里紗

電話：086-462-1111 内線 27513（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-464-1194

E-mail：lisa.0412@med.kawasaki-m.ac.jp

## 3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。

また、本研究終了後は研究成果を発表いたします。研究成果の発表に際しても、本研究に関する利益相反について明らかにした上で発表します。